

# 会 議 録

## 1 会議名

令和4年度 第12回高田区地域協議会

## 2 議題（公開・非公開の別）

(1) 地域活性化の方向性について（公開）

(2) 令和4年度地域協議会の活動計画について（公開）

## 3 開催日時

令和5年1月23日（月）午後6時30分から午後7時32分まで

## 4 開催場所

福祉交流プラザ 第1会議室

## 5 傍聴人の数

なし

## 6 非公開の理由

なし

## 7 出席した者（傍聴人を除く。）氏名（敬称略）

- ・委員：飯塚よし子、浦壁澄子、北川拓、佐藤三郎、澁市徹（副会長）、  
杉本敏宏、高野恒男（副会長）、富田晃、廣川正文、本城文夫（会長）、  
松倉康雄、宮崎陽、村田秀夫、茂原正美、吉田昌和（欠席5人）
- ・事務局：南部まちづくりセンター 滝澤センター長、小池係長、難波主任

## 8 発言の内容（要旨）

### 【小池係長】

- ・小川委員、栗田委員、小嶋委員、西山委員、松矢委員を除く15人の出席があり、上越市地域自治区の設置に関する条例第8条第2項の規定により、委員の半数以上の出席を確認、会議の成立を報告
- ・同条例第8条第1項の規定により、議長は会長が務めることを報告

### 【本城会長】

- ・会議の開会を宣言
- ・会議録の確認：高野副会長、佐藤委員  
次第2「議題等の確認」について、事務局に説明を求める。

**【滝澤センター長】**

- ・配布資料の確認
- ・次第に基づき、議題の確認

**【本城会長】**

- ・「議題等の確認」について質疑等を求めるがなし

— 次第3 議題（1）地域活性化の方向性について —

**【本城会長】**

次第3 議題（1）地域活性化の方向性について に入る。

「地域活性化の方向性」の作成に向けて、地域の方の意見を聞く一環として、11月下旬に高田区在住の市議会議員の方々をお招きして学習会を開催し、多くの意見をいただいた。次は福祉関係の方々を招いて、意見を聞く場を設けたいと思っている。

事務局より説明を求める。

**【小池係長】**

今月の10日に正副会長会議を行い、福祉関係の方をお招きしての学習会について協議した。協議の結果、高田区を担当されている民生委員と地域包括支援センターの方をお招きして、高田区地域協議会学習会を2月20日の午後6時30分から福祉交流プラザ第1会議室で行い、引き続き翌週の2月27日に第13回高田区地域協議会を行って、学習会の振り返り等を行う案にまとまった。

なお、高田区を担当されている民生委員は、高田南部、中部、北部の3地区あり、各地区からお一人の出席を見込むこととした。また、地域包括支援センターは高齢者の健康や介護、認知症のこと、障害に関すること、引きこもり、生活困窮などの総合相談窓口となる。高田区では二つの地域包括支援センターがあることから、各地域包括支援センターから担当の方の出席を見込むこととした。

**【本城会長】**

先般、三役会議を行い、今ほどの説明のとおり、福祉をテーマとした学習会を2月20日に予定したいと考えている。

質問のある委員の発言を求める。

**【宮崎委員】**

民生委員は三つの地区から一人ずつということだが、二人ずつ必要ではないか。1人ではいけないと思う。やはり、複数の人から聞いてもらった方がよいと思う。それぞれに持ち帰って報告をしてもらうためには、一人ではいけないと思う。

【本城会長】

では、民生委員で合計6人ということか。

【宮崎委員】

そうである。地域包括支援センターも二人ずつの方がよいと思う。私は民生委員を2期務め、地域包括支援センターや私達自身の動きを見てきたので、一人では駄目だと捉えている。

【本城会長】

それについては、南部、中部、北部の担当責任者に要請をする段階で、二人の出席がどうしても必要というところがあれば、そのようなかたちでお願いをすることとしてはどうか。

【宮崎委員】

私の意見であり、その方法で構わない。

【本城会長】

他に質問等あるか。

【北川委員】

民生委員についてだが、12月に新しい人に代わったように思う。新任の民生委員に来てもらうのか、それとも、これまでやっていた人から出席してもらうのか。新任では、なかなか難しいのではないかと思う。

【本城会長】

事務局より補足願う。

【小池係長】

つい最近、改選があったわけだが、当然、全くの新人では民生委員という見地から意見をいただくことは、なかなか難しいと思う。そこは経験を有する方ということで依頼することを考えている。

【本城会長】

ちょうど、民生委員が改選された時期ということもあり、なるべく経験のある人で、意見を集約的に発言する人ということで、南部、中部、北部の担当者に依頼しようと

思っているので、事務局に一任いただければありがたい。

他に意見等あるか。

**【村田委員】**

こちらから「こういう点について話をしてほしい」という要望は既に出しているのか。私自身も民生委員であるが「民生委員として普段感じていることを出してほしい」という部分も当然あってよいと思うが、「どういった角度で来てもらうのか」という点で言うと、「高田区の地域活性化」という点での問題提起をお願いするという、そういうテーマ的なものの要請はしているのか。

**【本城会長】**

私達は学習会ということでお願いします。

それぞれの立場で活躍していて、いろいろな問題点を掌握していると思う。そういった人達から意見を聞かせていただき、それを我々がどう受けとめて、行政の方に反映をするとか、そういうことはできるかなと思う。始めは実績を踏まえた問題点を出していただき、それに対して地域協議会委員からも意見をいただきながら、意見交換ができればよいと思っている。村田委員の発言にあったように、「高田区の活性化」を一つのテーマとして捉えているので、連動させるように努力したいと思っている。

**【富田委員】**

村田委員の質問に対してだが、民生委員が抱えている課題というか、問題点についてである。それを提案した場合に地域協議会として、「地域活性化の方向性」というかたちではなく、「今、民生委員、福祉関係はこういう問題点がある」「こういった課題がある」ということを自主的審議事項にかけ、それを意見書として出す、という方向も可能性はあると思う。

「地域活性化の方向性」ということで、今回、意見交換というか、学習会を行うわけだが、そういう場でもあると思う。このように広く考えた方がよいと思う。

**【本城会長】**

言われるとおりだと思う。

当日はいろいろと意見交換させていただきたいと思う。あくまでも学習会という前提なので、かたちにはまった議論ではなく、民生委員の持っている問題の提起をしていただければと考えている。

**【浦壁委員】**

民生委員が関わっている内容は、ほとんどが個人情報に関する。私は個人情報の審議委員なども務めているが、ほとんど丸ごと個人情報である。そのような中で、地域協議会としてどのような関わりを求めているのか、その点をはっきりと教えていただきたいと思う。

**【小池係長】**

個々のケースに関わる中で、民生委員は個人情報に関わるわけである。だが、この学習会の案においては、個人情報に関わる部分については触れない形で、実際に業務に携わっている中で、高田区の中で認識している課題を話していただくことを見込んでいる。

ちょうど1年前に「大雪災害に係る意見交換」ということで民生委員より来ていただいた。その場においても、個人情報は伏せた中で、民生委員の立場で認識している意見を披露していただいた。今のところ、それと同じような形を想定している。

**【本城会長】**

指摘のあった点について、十分に配慮しながら学習会を進めるようにしたいと思う。

- ・他に意見等ある委員の発言を求めるがなし

案のとおり進めることとしたいと思うが、相手があることであり、相手方と調整して追って案内する。

以上で次第3 議題（1）地域活性化の方向性についてを終了する。

— 次第3 議題（2）令和4年度地域協議会の活動計画について —

**【本城会長】**

次第3 議題（2）令和4年度地域協議会の活動計画について に入る。

澁市副会長より説明願う。

**【澁市副会長】**

- ・資料No.1により説明

**【本城会長】**

ただ今の説明について、質問のある委員の発言を求める。

**【富田委員】**

11月28日の市議会議員との学習会のまとめということで、まとめをした旨を澁

市副会長より報告があった。事務局がまとめてくれた資料があるが、これを「まとめ」と称しているのか。

いろいろな意見が出ていたと思うが、私が印象に残ったものは、例えば、「社会的活性化と経済的活性化があり、社会的活性化について云々」とあった。そういったことをいろいろと審議して、地域協議会としてどう考えるのか等、そのことのまとめ。7人の市議よりいろいろな意見が出された。「町内会の強化」という意見もあった。これを地域協議会としてどうするのかというような議論までは考えていないのか。事務局が市議会議員との学習会のまとめを作成し、これで終了ということなのか。

地域協議会委員がいろいろと考えなければいけないと思う。市議会議員からいろいろと具体的な提案もあった。市議会議員からいろいろとよい意見が出ていた。7人の市議は本当にいろいろと考えていると思う。あれを地域協議会で咀嚼して、地域協議会としてどのように考えるのか、というところまでまとめをするのか。その次の展開をどう考えているのか。

#### 【本城会長】

やはりあくまでも学習会で私達の高田区における地域活性化の方向性について、一つのアドバイスをいただいたというふうに思っている。それぞれの議員の皆さんが示された個別の問題については、どこまで深く我々が入っていくのか、あるいは、わからないところをもう一回また聞くのか、そういうこともあるので、できれば委員の皆さんから感じられた点を、今日の後半で意見交換を予定しているので、いろいろな意見を述べ合う中で、今のような意見を頂戴して、今後どうするか皆で議論していけばいいのではないかと。貴重な意見だと思う。

#### 【富田委員】

私もまとめをした。結構皆さん、いろいろと考えられていると思った。杉本委員が活性化の考えは十人十色と言う中で、例えば、社会的活性化と経済的活性化の話などおもしろい。

#### 【本城会長】

ある意味ではそういう問題を含めて、何が活性可能なのかということも含めたお互いの議論展開はしなくてはいけないと思っているので、時間のある限り意見交換をさせてもらえればありがたい。

#### 【富田委員】

承知した。

**【本城会長】**

以上で次第3 議題（2）令和4年度地域協議会の活動計画についてを終了する。

— 次第4 その他 —

**【本城会長】**

次第4 その他に入る。

前回の会議の後半では、フリートークのかたちで意見をいただいた。

前回に引き続き、委員間での意見交換の場を設けた。フリートークのかたちで、各自が持っている情報や意見等、発言を求めたいと思う。

**【富田委員】**

今、「地域活性化の方向性」について検討している。事務局からは「着手すること」と言われている。「地域独自の予算」で、この前いただいた概要（案）資料を見て、令和5年度は令和4年度の地域活動支援事業の延長として提案されていると思う。そして令和5年度では、また令和6年度の提案がある。その時に、今回何件が通るか分からないが、それらはそのまま令和6年度にも継続されるのか。もう審議はしないのか。

**【小池係長】**

「地域独自の予算」については、令和5年度の当初予算に向けて進めているところであり、それについては3月議会で審議され、議決を経ると、来年度予算が成立する。

令和6年度のものについては、自動的に令和6年度も継続ということではなく、あくまで単年度毎に予算要求を行い、査定を経て、その後の3月定例会の審議を経て、予算化される。今回、令和5年度の予算になったからといって、自動的に令和6年度もそのまま継続ということにはならない。

**【富田委員】**

地域独自の予算の概要（案）資料の3頁に「取組の継続」と記載されている。新たな取組が下に書いてある。なぜ、このようなことを言ったかということ、地域独自の予算には二つの条件がある。「①地域資源を活用した新たな収入源や雇用の創出等につながる取組」と「②地域での暮らしやすさにつながる助け合い等の取組」である。

そして我々がこれから地域協議会として、「地域活性化の方向性」という観点から違うと思われるものはカットされるということなのか。つまり、「地域活性化の方向性」がどういう位置付けなのか、ということがはっきりしていないというか、その辺がどうも不明確である。「着手する」とか、ものすごく曖昧。本当にやるならメリハリを持ってやらなければ、だらだらと行ってしまう。「地域活性化の方向性」も大事なものであれば、「地域活性化の方向性」の観点から、「このテーマは駄目だ」と言い切るのか。そういうところが不明確であり、はっきりと分からなかったので質問した。

**【小池係長】**

「地域活性化の方向性」の作成目的は、地域協議会による地域の活力向上に向けた議論を進めるにあたって、委員間の認識の共有、地域協議会と市の認識の共有、市で取組を企画する場合に参考とすることであり、地域において特に重視したいこと、大切にしたいことを各地域協議会において「地域活性化の方向性」として作成するものとしている。

今ほど富田委員より質問のあった、「地域独自の予算」に対して「地域活性化の方向性」が何か制約的なものになっていくのかということについては、「地域活性化の方向性」を作成し、それに沿うものでなければ「地域独自の予算」として提案できない等の制限をするものにはしていない。

**【本城会長】**

それについては、令和8年度までには、制度の改善についてもメスを入れていく、ということは提起されているので、そのように受けとめればよいと思う。地域活動支援事業の流れをくんでいると思う。

**【浦壁委員】**

「地域活性化の方向性」の作成に向けて2月20日に予定している学習会についてであるが、こういったものは地域協議会で決めるべきものだと思うが、これはどこで決められたものなのか。これはやはり、地域協議会委員の総意で発案、賛成多数と、委員の総意で決められるべきものだと思う。

私としては、このような機会があれば自分の勉強にもなるので、都合が悪くない限りは出席するつもりだが、一方的にこのようなことを計画するということはおかしいのではないか。

**【本城会長】**



そのことについては、事前に委員に諮り、合意を得て、全体で確認をしていると認識している。浦壁委員の指摘もあるが、私としては粛々と地域協議会委員の意見を尊重して、「地域活性化の方向性」を探り出したいという思いでいる。そういったところは、強制的にどうこうというものでもないのかと思う。自主的に、前向きに発言をいただければありがたいと思う。

#### 【吉田委員】

先日の高田区在住の市議会議員との学習会や、来月の福祉関係の方との意見交換会、その他にも別の人達を呼んだ後、「地域活性化の方向性」を決めたとする。その決めた方向性は誰がやるのか。その辺りがよく分からない。「地域活性化の方向性」が決まった後、その提案は誰がやるのか。

私達は来年で任期が終わってしまうので、どうなっていくのかと思っている。どうなのか教えてほしい。

#### 【本城会長】

確かに私達の任期の関係もある。ただ問題は、市の方向性がもう少し鮮明に出てこなければ、他の地域協議会委員も同様だと思うが、多少、戸惑いがあることは事実である。

私としては、市が「地域活性化の方向性」について、地域の声を集約してほしいということで、何と言うか、箇条的、抽象的な文句で並べるだけのものでしかないのかなと思っている。だから、中身が見えてこない。

今ほどの意見にあったように、私達も「何をやればよいのか」という辺りは、議論を通しながら、そういった意見をまた会長会議等があれば、市に対して、そういった発言をしていきたいと思っている。

個人的にも以前より、「地域活性化の方向性」の問題は曖昧だと思っていた。総合事務所のある区では、やはりきちんと、早めにまとまって出ている。地域協議会が事務局と連携を取り、高田区の大きな課題をまとめることができるのかと言われると、はっきりいって体制的に南部まちづくりセンターは和田区、三郷区、金谷区、そして高田区も抱えているので、大変なエネルギーが必要だと思う。

やはりここは、地域協議会委員より出た意見を事務局がどう整理をして、それを市がどう受けとめて方向性を出していくのかというあたりは、お互いに協力関係でいかなければ、なかなかまとまらないと思う。

大変、貴重な意見がこれまでも出ている。ただそれを逆戻りするようなことになると、また浦壁委員の発言にあったような話に行ってしまう。本当に地域協議会委員の責任はどこまでか、という線引きはできないが、一応、意見交換をしながら建設的な方向で、市が提起している「地域活性化の方向性」を高田区として生み出したいという思いでいる。

#### 【杉本委員】

今ほどの話だが、最初からそこが一番心配なところだったと思う。他の委員はどのように思っているか分からないが、私はそのように思っている。市の説明だと、「地域活性化の方向性」についてまとめて出してほしい、というところまでは要求されている。その先については、私の記憶では何も説明がない。

以前、この話が出たときにも、高田区で「地域活性化の方向性」を出した後、「実行するのも高田区地域協議会だ」と言われると、地域協議会の性格が変わってしまう、という話をしたと思う。

以前より何度も言っているが、市として、どこまで地域協議会に求めているのか、ということをはっきりさせてもらわなければ、この議論はやっていても何だか中途半端になってしまい、もしかすると空中分解してしまい「言うだけは言ったが、あとは知らない」というようなことになりかねないと思っている。だからその辺を、会長会議等を通じて、話を出してもらった方がよいかと思う。

#### 【本城会長】

近々、3月議会が招集されるわけだが、この3月議会でもある程度はそのあたりの問題について、議論されていくのではないかとと思っている。そういう動きも参考にしながら、新年度でどういう方向性を地域協議会に求めていこうとしているのか、というあたりは、ぜひ、市からも示していただきたいと思っている。

杉本委員の発言のとおりだと思う。そのあたりは南部まちづくりセンターを通して、今のような意見を市に伝えていくことが大事だと思う。

#### 【富田委員】

私は文章というものが大事だと思っている。言葉はすぐに消えてしまう。

「地域独自の予算」の概要（案）の資料がある。今ほど杉本委員が言われたことは3頁に「令和6年度に向けた取組の検討」とあり、ここに「地域の団体、地域協議会、総合事務所等が連携し提案」と書いてある。これは一つの決定事項である。案かもし

れないが。

【澁市副会長】

これは誰も決めていない。事務局や市の希望である。

【富田委員】

では、3月に「案」がとれるのだろう。

【澁市副会長】

とれない。

【富田委員】

とれないように皆さんも言わなければいけない。地域協議会は諮問機関であり、実行機関ではない、と澁市副会長は言われる。

【澁市副会長】

条例に書いてある。実行機関ではなく、審議機関だということが条例に記載されている。

【富田委員】

条例は、それが絶対事項ではない。

【澁市副会長】

絶対だ。それを条例で説明している。

【茂原委員】

「地域独自の予算」の資料には概要（案）と記載されている。そして、その時の説明では「案であり、内容は確定していない」ということを説明されている。そのあたりが人によっては、丁寧に何回も説明されることもあり、そういう方向で我々も検討しなければならないのではないかと。そして、「地域独自の予算」云々という話になったり、「地域活性化の方向性」についてということで、何回もくどいように話をされるので、何が何だか、はっきり分からない。そういう提案がされて、地域協議会としてはあくまでも答申事項の話なので、自主的審議をして誰がやるのか、事業主体がはっきりしていない。だから、何を話しているのか、何をやろうとするのか訳が分からない。こういったことが実情ではないかなと思う。個人的意見である。

【富田委員】

条例と違うことをやっているのだから、高田区としては認めない、ということか。

【澁市副会長】

認める、認めないということを行っているわけではない。

**【本城会長】**

要はたたき台として市から提案をしてきた。これを我々が受けて、中身についていろいろと思いを出し合っしてほしいということであり、そして最終的なものを作り上げていくために提起されたみたいなものだと思っている。ただそれが、茂原委員の発言にあったように、中身的にいろいろなことを限定したようなかたちで記載されているので、それでいくのか、どうなっているのか、ということにつながっていき、戸惑いがあることは事実である。

これは皆の意見を入れて補強しながら、最終的な案を作り上げる一つの過程だと思っている。そのための議論展開を今、「地域活性化の方向性」についていろいろな意見を酌み交わしながら、反映させていきたいという思いもある。

**【富田委員】**

分かった。我々の任期はあと1年しかない。その1年で条例を変えるとか、そんなことはできない。来年の3月に地域協議会のことでいろいろとあるのではないかと思う。

**【本城会長】**

我々の役割というのは、やはり、きちんと地域協議会委員として、行政から投げられたものに対して答えを出していくことが必要だと思う。意見具申をすることも必要だと思う。そのように今回の取扱いについて、理解していかなければ、残り1年しかない中で何ができるのか、という話になってしまう。この議論を展開していってしまおうと、地域協議会のあり方そのものが、議論されなければならなくなって、今いるわけだ。他からも、「委員のなり手が無い」という話まで出てきたりしている。地域協議会のあり方にメスを入れることをしなければ、本当にだんだんと本来の地域協議会の役割が不明確になってきそうだとすることを危惧している。会長会議でもあれば、私もまた市長に発言したいと思っている。おそらく我々よりも市議会議員が3月議会で議論展開をすると思うので、それを少し見守りたいと思っている。

**【澁市副会長】**

「地域活性化の方向性」について議論して、他区のように事務局が手伝って作成したお経のような文章があったが、あれを作ってどういう意味があるのか。地域協議会はそれを使って何か実行するのかといっても、地域協議会は「金もない」「人もない」

わけである。「権限もない」わけだ。何のためにやるのか、ということについて、会長をはじめ、他区の地域協議会会長もいろいろと疑問を投げかけているが、市長をはじめ、市側から明確な答えは何もないと私は理解している。

ただ、去年9月くらいから「将来の活性化の方向性を考えましょう」ということで、ではその前に高田区が抱える活性化の課題は何なのかということで、とり上げて議論してきた。

今ほどの富田委員の発言にあったように、「活性化」とは何だと。活性化については議論し出すと、人それぞれに違う定義がある。それを一概にまとめ上げることは無理だろうというのは、ここの皆さんのコンセンサスではないかと理解している。

また、富田委員の発言にあったように、「社会的活性化」と「経済的活性化」という二つに分けることもできる、と言う人もいた。

私は経済のことを勉強したので、活性化となるとどうしても所得が増えること、懐が潤うことが活性化につながるのではないかと、思っていたが、いや、そうではないのではないかと。例えば、上越市は福祉について非常に力を入れている、福祉については皆満足している、なので、それは一つの活性化の方向性だと思う。この議論によって知識を得たと思う。

少しまとめてみたが、今までの議論の中で我々が抱える課題というか、どういう課題があるのか。課題というと私が思うのは、問題点だと思う。それだけではないと。この間の市議会議員との勉強会で、課題というのは強みも考えなければいけない、と言っていたと思う。そういうことを考えると、これから我々がもう少し考えていかなければならないのは、我々の課題として挙げてきたものとして私は六、七点くらい挙げた。

課題の一つとして、「雪と共に生きるまちとしての高田の発展をどう考えるのか」これは大きな課題だと思う。

二つ目として、「地域の町内会、あるいは自治会が非常に弱体化している」である。学習会に出席された市議会議員の中には「町内会は今に無くなってしまおう」という人もいた。役員のみならず手がいない。

三つ目として、高田を中心とする上越地方というのは、長尾家、上杉家が春日山に城を築いたことから始まっている。徳川幕府が高田に城を築き、それが1604年だったか。それから420数年あまりの間、ずっと発展してきた。その間の歴史的なこ

とを考えなければいけない。高田の発展に常にあったことは、地方の政治的、行政的な中心地で、そのために高田にそういう役割を与えられた。そしてそれを強固にするために、交通システムを整え、人口集積を図った。明治になって、それがなくなってしまい、その代わりとして十三師団を誘致した。そして戦争で負け、そのあとは農業、米作りの中心地として高田があった。ところがだんだんと米が主要農作物から外れていった結果、高田は消費都市としての中心地の役割がだんだんなくなってきたのではないか。この辺はもう少し詳しく議論等していかなければいけないと思うが、そういう歴史的経緯を考える必要があるのではないか。

四つ目として、その発展の中で為政者たちは教育と文化に非常に力を入れた。師範学校を作り、それが新潟大学高田分校になり、さらには上越教育大学になってきた。ただ教育学部しかない。これからの発展を考えるには、他の分野、例えば、デジタルトランスフォーメーションに関わる分野の人材が必要になってくるかもしれない。そういうことも考える必要がある。

あとは、日本全体に言える「人口減少と高齢化」の課題がある。

そして、典型的な人口集積市の市街地がもうスポンジ状になっている。仲町や大町を歩くと10軒に3、4軒くらいは空き家であり、深刻な問題だと思う。

あと、強いところは、人口に比べて商店や医療機関の密度が非常に高い。他の都市と比べてということである。これは市議会議員も言っていたと思う。これは少し利用して、「地域活性化の方向性」を考える際に、これを要素として入れ込む必要があるのかもしれない。

そういった私が知らなかった範囲についての知識を得ることができたので、勉強会や話し合いは非常に有意義だと思っている。本城会長よりリードしていただき、このような勉強会ができた。

#### 【高野副会長】

今、「社会的活性化」「経済的活性化」の二つに絞られているが、私は「文化的な活性化」が抜けているのではないかとと思っている。ここのところは、やはり音楽、絵画、伝統文化、祭り等、いろいろな活性化もあるが、抜けている部分があるのかなと思っている。活性化もいろいろなとり方があるが、私はその部分が大きく抜けていると感じている。そこも皆で検討していただければどうかと考えている。

#### 【本城会長】

だんだんと素晴らしい意見が出てきたが、これを発展させるか。あるいは出された発言は貴重な意見として承り、いずれの機会に整理をさせていただきたいと思っている。

#### 【杉本委員】

分科会を作って議論してきていた。「地域活性化の方向性」等の話が出てきて、中断しているわけだが、よくよく考えると、あれがこの中身なのではないか、という感じもしないでもない。

第2分科会では災害をどう克服するのか、ということがテーマだった。そういうことが大事なことかと思うし、また、第1分科会でやっていた課題についても、あれそのものが地域活性化を考えて議論していた中身だったのではないかと思う。

もう一度あれを元に戻すことも考えてみた方がよいのかなと思った。

もう一つ話したいと思ったことは、自分の住んでいる町内だけでなく、近所でもある話。高齢者が亡くなる。家族は皆、都会におり、地元にはいない。何が起きているのかというと、相続人全員で相続を放棄する。これが私の見ているところでも立て続けに出てきている。これは非常に深刻な問題だと思う。結局、空き家になってしまう。空き家になって誰も管理をしない家が出てくる。町内会に「やれ」と言われても、無理な話である。こういった問題も活性化の足を引っ張る現象だと思う。こんなものがどんどん増えていくと、ますます住む人が居なくなってしまう

そのような中身も含めて、高田のまちの特有の問題としてあるのではないかと思う。

そのようなことも含めて、これからの議論の中に入れていってもよいのかと思う。

#### 【本城会長】

大変貴重な意見である。

第1分科会、第2分科会も、いろいろな議論をさせていただき、ある意味では大変貴重な集約をしていただくなどしている。

私は分科会を発展的に今の「地域活性化の方向性」の議論につなげていければ、方向性が出てくるのかなと思っている。

その辺については正副長会議で検討し、次回の会議で整理した考え方を出したいと思っている。皆さんから出た議論は一旦預かりたいと思う。

#### 【富田委員】

今ほど杉本委員より話が出た災害対応については、市議会議員も話していた。高田

区の特徴は住宅が密集している、道が狭い等いろいろとあり、水害や地震、火災があったときに、うまく対応できるのか、ということ話を話していた。これは高田区の弱点である。

私もあれから、若者の方もフォローしている。若者がどんどんと増えてきている。東本町で二つの町家を使って、リノベートしていた。いろいろとまだ出ている。そういう中で私も行って、今彼らが抱えた問題点、これから若者が活動するために、何か問題点があるかを聞きながらやっている。何かあったときには地域協議会で「今こういう問題が起きている」「自主的審議で挙げよう」という話を小川委員としている。一応、かたちとしては終わっているが、まだ続いていると認識している。

#### 【本城会長】

貴重な意見である。

2月20日の学習会の次のことについて、正副会長でもいろいろと議論した。その中では、現役世代、サラリーマン、若者といった方々、あるいは新しく起業している事業者や女性の事業者、さらに子育て世代、というようなかたちの意見を聞く機会を、学習会として3回目はセットしたいという思いを正副会長の3人で共有している。

今ほど出た意見にも関連するので頭に置きながら、次回は福祉であるが、その次の学習会ではそのようなかたちで議論したいと思っている。そうすると、第1分科会で議論してきたテーマとかぶっていくとも思うので、そのように進めていければという思いを持っている。ご理解いただければありがたい。

#### 【吉田委員】

次々回の学習会が、今ほどの本城会長の発言にあったようなかたちでいうことで理解した。その後は、今までいろいろと聞いているが、防災、観光、文化といったものも、一つのテーマになるのではないか。文化のまちなので、そういうのもいつの時期か勉強会に入れてほしいと思う。

#### 【本城会長】

出された意見については、お互いに共有しながらどうするのか、一つの方向性を議論したいと思っている。少し時間を与えてほしい。

- ・この考え方でよろしいかを諮り、委員の承諾を得る

本日出た意見を整理し、次回の会議につなげていきたいと思う。

以上で次第4 その他を終了する。



— 次第5 事務連絡 —

【本城会長】

次第5 事務連絡 に入る。

事務局より説明を求める。

【滝澤センター長】

- ・今後の地域協議会等の日程連絡

福祉関係者を招いた学習会：2月20日（月）18：30から 福祉交流プラザ  
相手のある話であり、調整の上、委員へ案内する。

第13回地域協議会：2月27日（月）18：30から 福祉交流プラザ

3月の定例会は休会をお願いしたいと考えている。理由として、地域独自の予算が5年度予算から始まって、この3月議会で予算が審議される。事務局としても新しい業務ということで、その議会对応が新たに生ずることから、地域協議会の当日以外も事前協議や資料の発送など、そういったものを経た中で地域協議会を開催しているが、そういった部分の時間がとれないという見込みであることから、このようにお願いするものである。これについては、南部まちづくりセンターでは高田区以外で三区所管しているが、こちらの方でも同様に休会ということをお願いをする予定である。

- ・配布資料

高田区地域協議会だより第52号

ウィズじょうえつからのおたより

【本城会長】

事務局の説明にあったように、3月1日から3月24日までの予定で3月定例議会議が開催され、「地域独自の予算」の関係で議会对応の時間が必要ということである。そのため、3月の定例会は開催しないことを理解いただきたいと思います。

- ・全体を通して質問等を求めるがなし
- ・会議の閉会を宣言

9 問合せ先

自治・市民環境部 自治・地域振興課 南部まちづくりセンター

TEL: 0 2 5-5 2 2-8 8 3 1 (直通)

E-mail: nanbu-machi@city. joetsu. lg. jp

1 0 その他

別添の会議資料もあわせてご覧ください。